

文学部
SAKAI Kazuomi
PROFILE
職名 文学部 歴史学科助教
学歴 大阪大学大学院文学研究科 文化形態論専攻博士後期課程修了(2002)
学位 博士(文学)(大阪大学、2002)
所属学会 日本国際政治学会、オーストラリア学会
専門分野 日本外交史

酒井 一臣

さかい かずおみ

研究課題1 ● 近代日本社会外交史

研究課題2 ● 文明国標準に関する研究

業績

【著書】

『近代日本外交とアジア・太平洋秩序』／昭和堂、2009年3月、単著。

【学術論文】

「帝国日本と「文明国標準」—大正期南洋群島問題を中心に—」／『渋沢研究』第12号、1999年10月。

「ワシントン会議への道—太平洋問題と「帝国」日本—」／『法学政治学論究』第43号、1999年12月。

「新四国借款団と国際金融家—国際協調主義の論理と限界—」『史林』第84巻2号、2001年3月。

「交錯する脅威—E・L・ピースと日豪関係—」『オーストラリア研究』第14号、2002年3月。

「中国共同管理論の展開—「文明国標準」と協調外交—」／『植民地帝国日本の法的展開』(浅野豊美・松田利彦編)、信山社、2004年6月。

「幻の「ハーグの平和」—戦間期国際協調外交の原型—」／『人文学報』第148冊、2004年12月。

「「ドミナントな白人性」を越えて—近代日本の二つの顔—」／『白人とは何か？ ホワイイトネス・スタディーズ入門』(藤川隆男編) 刀水書房、第13章、2005年10月。

「「脱欧入亜」の同床異夢—アジア・太平洋地域協力の予兆—」／『パブリック・ヒストリー』第3号、2006年2月。

「南洋群島委任統治制度の形成—日豪関係の視点から—」／『二十世紀研究』第7号、2006年12月。

「「文明の使命」としての日本の南洋群島委任統治—過剰統治の背景—」／『南洋群島と国際関係』(浅野豊美編)、慈学社、2007年2月。

「天孫人種は白人なり—田口卯吉の現実外交路線—」／中京大学社会科学研究所叢書第20巻『アジア太平洋地域における「ものの考え方」』、成文堂、2007年3月。

「高等学校歴史教育における史料利用について—教科間協力と高大連携の視点から—」／『パブリック・ヒストリー』第7号、2010年2月。

「「文明国標準」の南洋観—大正時代における—教授の認識」／『立命館言語文化研究』第21巻第4号、2010年3月。

「外交の民主化と国際協調主義—「国民外交」論を中心に—」／『史林』第94巻第1号、2011年1月。

【科学研究費補助金】

科学研究費(若手B) 課題番号22730140(平成22年度~24年度)「1930年代日本の国際秩序論の「社会外交史」的研究」